

第12回島田市自治基本条例を考える市民会議 会議要録（抜粋）

（2）条例検討案について（資料1）

前回までの市民会議でまとめられた意見を事務局で繋ぎ合わせて文章化したもの（第1案）を11月12日（木）に開催した第4回自治基本条例制定作業部会で検討した結果（第2案）をまとめた資料1について事務局より説明し、市民会議で検討した。

○「オールしまだ」について

資料1の3ページ、目的の部分の「オールしまだ」の別表現についてグループで検討。

- ・「オール～」は「全員でやっていく」とスポーツチームのような「選抜」という異なる意味がとれる。
- ・旧島田市・旧金谷町・旧川根町が合併してから「オールしまだ」と聞くようになった印象がある。みんなでがんばろう！という気持ちになれる。
- ・合併後に残る疎外感を払拭できる言葉。
- ・「市民、議会、市長等」や「市民のみなさん」と言われても、自分が含まれているとは思えないが、「オールしまだ」だと自分も含まれている感じがする。抽象的で親しみやすい条例にすることで島田らしさが表現できないか。
- ・他市の条例を見たときにやっぱり文章が堅いと読みたくなる。
- ・30～50年後には「オールしまだ」という単語は古くなっているかも。
- ・堅く表現すると「悉皆（しっかい）」という単語がある。親しみやすさはなくなるかもしれないが、みんなが気になる単語になる。
- ・まず条例に親しみを持って知ってもらうために、柔らかい表現を使って、その後、使われている言葉が古くなったら条例を改正すればいいのではないか。

○「将来の島田市について考える」について

資料1の3ページ、目的の部分の「将来の島田市について考える」だけでいいのか？

- ・「考える」は意識する、みんなで作るという前向きな姿勢を示している。
- ・「考える」だけでは「考えたから条例の目的が達成できた」ということになってしまう。
- ・第2回市民会議で「よいまちにするために私たちができること、したいこと、していること」を話し合ったときに「学ぶ、知る、聞く、話し合う、参加する、声をかけ合う、協力する」という共通の動詞が出てきたので、それを採用できないか。
- ・それなら、その動詞の意味を込めて「将来の島田市について考え、行動する」にしたらいけないか。
- ・「考える」には目の前のことだけでなく、将来を見通すという意味も込められるの

ではないか。

- ・「将来」のことだけでいいのか？今の島田市は？過去は？
- ・では時間軸をやめて、「島田市について考え、行動する」とする。

○その他

- ・「行政」が国や県を含むということで「市長等」に変えているが、市民目線で考えると「行政」という言葉を使ったときに国や県をイメージする市民は多くないのではないか？